

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 ICS 小委員会（第25期・第1回）議事録

日時：令和4年4月26日（火）9:00～10:00

会場：遠隔会議

出席者：江崎洋一，岡田 誠，川辺文久，齋藤文紀，西 弘嗣，松岡 篤，佐野晋一

議題

(1) 委員長，幹事の選出

委員長に松岡 篤，幹事に佐野晋一を選出した。

(2) ICS subcommissionの活動状況について

シスウラリアン統（いわゆる下部ペルム系）の下から3つめの階であるアーティンスキアのGSSPについて，ロシア，ウラル山地南部Dal' ny Tulkasセクションにおいて，コノドント*Sweetognathus asymmetricus*の進化的初出層準をマーカーとして決定された。

白亜系の基底であるベリアシアン階のGSSPの提案は白亜系層序委員会で否決され，新たなワーキンググループが組織された。

上部白亜系の上から4つめの階であるコニアシアン階のGSSPについて，ドイツのSalzgitter-Salderセクションで，イノセラムス類*Cremnoceramus deformis erectus*の初産出をマーカーとして決定された。

新第三系に関して，Subseries/Subepochs 区分がIUGSにより承認された（中新統は下部，中部，上部に3分され，鮮新統は下部と上部に2分される）。

(3) 25期の活動計画

JpGUで，5/22及び5/30にジュラ紀/白亜紀境界に関連したセッションを開催する。

日本地質学会で人新世に関連したシンポジウムの計画があり，実施される場合はICS小委員会も共催することを確認した。

(4) 議事要旨の委員長一任について

一任することを承認した。

(5) その他

チバニアン階のGSSPに関して，5月21日に「ゴールドenspайク」セレモニーを市原市において，5月24日に日本学術会議公開シンポジウム「チバニアン，学術的意義とその社会的的重要性」をハイブリッドで開催する。

配布資料

- ・チバニアンシンポジウム_2022_チラシ

以上